

別記

第1号様式(第14条関係)

環境マネジメントシステム導入報告書

( 宛 先 ) 京 都 府 知 事		平成27年7月28日
住所(法人にあっては、主たる事務所の所在地) 東京都中央区京橋3-1-1 東京スクエアガーデン		氏名(法人にあっては、名称及び代表者の氏名) サントリープロダクツ株式会社 代表取締役社長 垣見吉彦 代理人 宇治川工場 執行役員工場長 塚本祐二
環境マネジメントシステムの名称	ISO14001	
適用範囲	清涼飲料水、乳飲料の製造	
導入年月日	平成15年 3月 2日	
認証番号	EMS 510961	
基本方針	5項目を環境マネジメントシステム(以下EMS)の推進により実行: ①水のサステナビリティの追求②生物多様性保全への取り組み③イノベーションな3Rによる資源の有効活用④全員参加による低炭素企業への挑戦⑤社会とのコミュニケーション	
環境に配慮した事業活動を自主的に進めていくための目標(以下「目標」という。)	炭酸ガス排出量抑制:CO2原単位 前年比7.3%削減 廃棄物の減量化:前年比9%削減(大ペットボトル)、前年比5%削減(小ペットボトル) 廃棄物の適正処理化:処分場100%視察	
目標を達成するための取組の内容	炭酸ガス排出量抑制:工場上位方針に基づき組織的に省エネ活動を実施。(蒸気ドレン回収設備の延命化。下水道化によるパワー電力削減。等) 廃棄物の減量化:コンベア倒瓶改善活動。 廃棄物の適正処理化:毎月計画的に処理場の視察をし適正処理状況の確認を実施。	
目標を達成するための取組の進捗状況	炭酸ガス排出量抑制:計画した案件の改善実施済み。前年比5.7%削減。 廃棄物の減量化:生産設備のトラブルによりペットボトルの廃棄量増加。前年比21%悪化(大・小ペットボトルの合計)。 廃棄物の適正処理化:計画どおり視察100%実施。	
目標を達成するための取組の成果及び当該成果に対する評価	生産設備のトラブルが多く発生したため、メンテナンス日を増加した。そのため、エネルギー使用量は減少し炭酸ガス排出量は減少した。しかし、これらの要因でペットボトルの廃棄量が増加し、また、生産数量は減少したため、原単位は悪化した。	
事業活動に係る法令の遵守の状況	関係法規の遵守状況について1ヶ月に1回の確認を行っている。また、これまで違反及び行政当局からの指摘はなかった。	
環境マネジメントシステムの評価及び見直しの内容	評価・見直しの必要性については、1年に1回マネジメントレビューを実施している。 平成26年度は、現行の取組内容により一定の成果が見られたことから、平成27年度も同一のシステムにより運用予定。	

注 認証番号の欄は、導入した環境マネジメントシステムについて第三者の認証を受けている場合にのみ記入してください。